

萩 ネットワーク

第 47 号 2002 年 9 月

発行：萩ネットワーク協会

〒 758-8555 山口県萩市大字江向 510 萩市役所広報課内

T E L 0838-25-3178 F A X 0838-26-5458

萩市ホームページ

<http://www.city.hagi.yamaguchi.jp/>

住吉祭りは、秋の金谷の天神祭りと共に、萩の二大祭りの一つと言われてきました。江戸時代から浜崎だけでなく、城下町全体で祭りを祝いました。昭和 38 年から住吉祭りに併せて「萩夏祭り」が行われるようになりましたが、それ以前は住吉神社の境内にはサーカスや見世物小屋なども来て大変な賑わいでした。

8 月 2 日から神様の御神体を納めた御輿を担いで町を巡る「御神幸」が行われ、3 日深夜住吉神社に帰ってきます。その際担ぐ人たちによって激しいもみ合いが延々と続き、4 日の明け方近くになることもあったそうです。祭りに関わる人たちの熱気を感じさせるこのもみ合い「おあがり」を、遅くまで見物する人も多くいます。

住吉祭りの

御神幸



9・10月のイベント	P2
萩藩の麻布下屋敷発掘(萩市長 野村興兒)	P3
萩広域市町村合併「任意合併協議会」を設置	P3
萩 400 年の物語 第 11 回(北村知紀)	P4～5
ズームアップ [中原洋美]	P5
柚子屋本店、萩発旬の味便り	P6
SHOWIN ウオーク、萩城下町マラソン	P7
笠山ツバキ群生林天然記念物に、ロケ支援隊	P8

目次

新博物館起工、萩のなないろ CD 発売	P9
ばしふいっくびいなす来萩	P9
同窓会だより	P10
萩商業高校に記念碑、めーるぼっくす(投稿)	P11
夢追人 [吉見明善]	P12
故沢本良秋さんのスケッチ、美術館だより	P13
情報アラカルト	P14～15
幕末・維新こぼれ話 中嶋治平(12)	P16

萩の秋 深まる故郷：

萩・魚まつり

今年も「萩・魚まつり」が開催されます。このイベントは、萩の新鮮な魚介類のPRと魚食普及を目的としています。

とき 10月13日(日) 午前9時

ところ 山口はぎ水産物卸売市場・萩しーまーと

内容 萩の新鮮な魚介類の販売ほか

問い合わせ 萩市水産課 (0838・25・2230)

秋の萩焼まつり

毎年恒例となった、田町商店街の「秋の萩焼まつり」が開催されます。

とき 10月11日(金)～14日(祝)

午前9時30分～午後5時30分

ところ 田町商店街

内容 萩焼の即売、イベントスペース、シヨイ201で萩陶芸家協会出展の萩焼展、ロクロ・絵付けの体験、萩の特産品販売、竹細工の体験など

問い合わせ 萩商工会議所 (0838・25・3333)

大相撲萩場所

萩市制施行70周年を記念して大相撲萩場所を萩市民体育館において開催。総勢300有余名の大相撲一行により、本場所さながらの雰囲気十分に堪能できます。

とき 10月26日(土)・27日(日)

ところ 萩市民体育館

◆チケット料金(税込み)
タマリ席 1万4千円(1人席)
マスS席 1万4千円(4人席)
マスA席 3万8千円(4人席)
イスA席 4千5百円(1人席)

自由席 大人 千円(1人席)
自由席 小人 5百円(1人席)

※小人料金は中学生以下

◆飲食・相撲土産セット料金(税込み)
4千2百円セット(組湯呑み、呼出し扇子、座布団、弁当、飲み物他)、千円セット(弁当・お茶)

◆チケット販売所(受付時間 9時～17時)
萩市民体育館

(0838・25・7311)

◆問い合わせ 大相撲萩場所実行委員会(0838・25・7311)

委員会(0838・25・7311)

問い合わせ 大相撲萩場所実行委員会(0838・25・7311)

第27期 囲碁名人戦

依田紀基名人に挑戦者趙治勲王座が挑む「第27期 囲碁名人戦」が9月25・26日、萩の宿常茂恵で開催されます。

また名人戦が開催されるのを記念して、プロ棋士による指導碁、大盤解説、前夜祭などが開催されます。

前夜祭
とき 9月24日(火)

午後6時

会費 1万円(記念の扇子代を含む)

募集定員 30人

指導碁
とき 9月25日(水)

指導棋士 山城宏(九段)、巻幡多栄子(二段)

募集定員 40人

参加料 無料

大盤解説
とき 9月26日(木)

解説者 山城宏(九段)

聞き手 巻幡多栄子(二段) 参加料 無料

※前夜祭、指導碁、大盤解説は萩の宿常茂恵で開催

申し込み・問い合わせ 9月6日までに萩市企画課内第27期 囲碁名人戦萩会場実行委員会(0838・25・3590)に電話で直接申し込み。ただし、大盤解説は申し込み不要

萩スタジアム(椿霧口)に続き

9月末 武道館オープン

平成10年6月に萩スタジアムが完成し、12年にはゲートボール場、13年にちびっこ広場の整備を終えた萩ウェルネスパーク内に、今年9月に武道館(多目的体育館)が完成します。萩ウェルネスパーク内では現在多目的広場が造成中です。

武道館(多目的体育館)の特徴は、柔道の公式会場

が4面取れる多目的ホール(アリーナ)と、北浦唯一の遠的場を有する弓道場です。

9月28日の竣工セレモニーのあと、竣工記念としてアトランタ・シドニー五輪代表の阿武教子選手兄妹を招いての柔道教室や、29日～30日の山口県高等学校柔道選手権大会が開催されます。

施設概要

構造：鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造1階建
施設：多目的ホール(アリーナ)、弓道場、ロビー、事務室、観覧席、更衣室兼控室、トイレ、倉庫等
建築面積：約2,900㎡ 延床面積：約3,100㎡
多目的ホール：1,070㎡
弓道場：近的(28m)6人立 遠的(60m)3人立



萩藩の麻布下屋敷発掘

先日、東京都港区の区長から電話をもらおう。「萩藩の麻布下屋敷の発掘が行われている。隣接の檜町公園の池のある庭園を含め新しい港区の都市計画の下に大整備が始まる。ついては、萩にとつてゆかりの地なので、是非一度お訪ね下さい。」との内容であった。

麻布藩邸があったことは知ってはいしたが、その場所が旧防衛庁の敷地とは全く承知していなかった。早速に担当者とともに藩邸跡地を訪ねる。隣接の檜町公園は、今は区立の公園として真ん中は池があるものの相当荒れた都市公園。江戸時代麻布藩邸内には檜が沢山植えられていたところから、別名檜屋敷と称され、檜町の由来となった。檜坂の地名も残っている。その公園内には石碑や萩藩のものと思われる巨大な灯籠が残っている。高台の藩邸からは庭園越しに江戸の街並みが一望でき名園として名を馳せていた。

赤坂と六本木の境の地の藩邸跡地が今大発掘が行われている。発掘現場には、毛利家の家紋の入った瓦、徳利、火鉢、すり鉢、灯明具、萩焼茶碗など数多くの遺物が出土していた。当時の「江戸麻布御屋敷土地割之図」などが残っており、発掘担当者から説明を受け

如何に広大な屋敷か分かる。

幕末に萩藩と藩府が対立し長州征伐の開始とともに藩邸は打ち壊される運命となる。その後国有地となり明治7年、歩兵第一連隊がこの地に創設される。因みに二代目の連隊は乃木希典であり、乃木神社はこのすぐ近傍にある。

続いて防衛庁の敷地となり、今次、庁の移転に伴い、入札により三井不動産を中心とするコンソーシアムに売却され再開発が始まる。売却価格を聞けば一坪759万円とのこと。萩藩の屋敷跡も大したお値段。

見学を終え、藩政時代の名園だけでも東京の地で残すことはできないかとの思いに駆られる。

萩市長 野村興児



萩阿武郡にも合併の動き

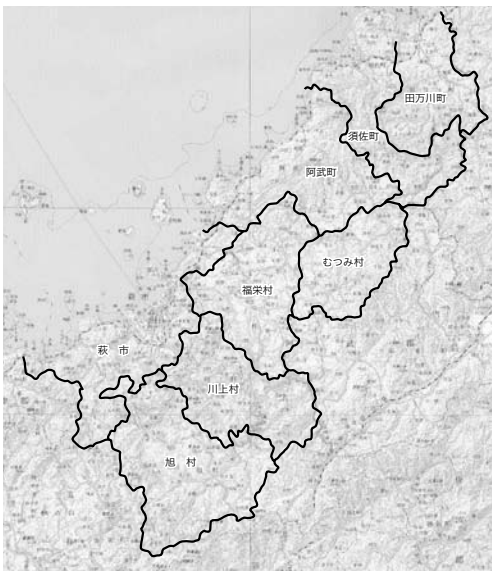
7月末に任意合併協議会が設置

萩市と3町4村(川上村、阿武町、田万川町、むつみ村、須佐町、旭村、福栄村)では7月30日、萩市役所で合併に関する具体的な調査研究や議論を深めるための組織として、「萩広域市町村合併調査検討協議会」(任意合併協議会)が設置されました。

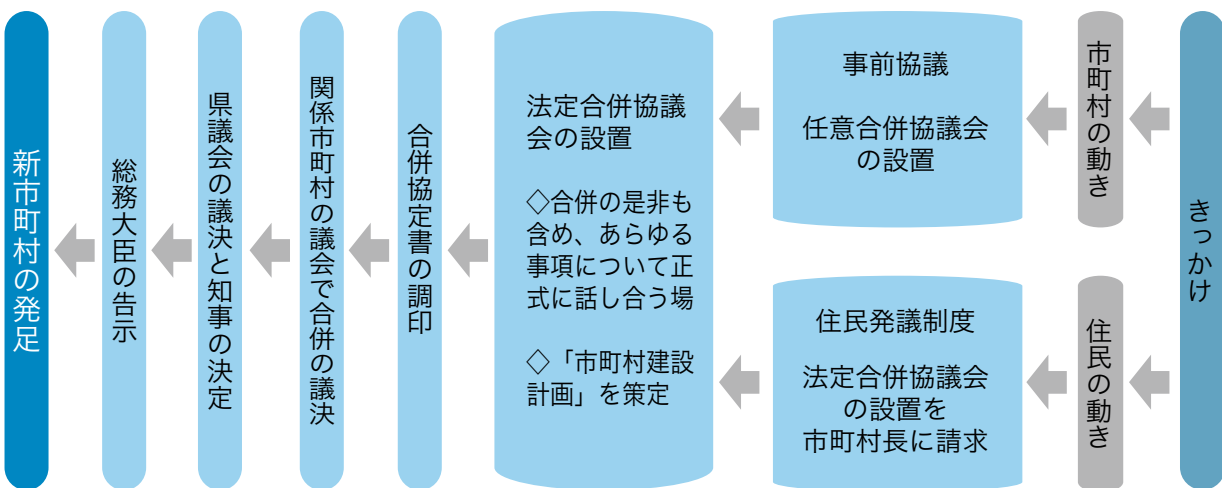
これまで首長だけで構成されていた萩広域市町村合併調査研究会(昨年5月発足)を廃止し、新たに行政、議会関係者も加えて更に踏み込んだ議論を行っていきます。

年末までに、市町村の事務事業や条例の比較、新市の将来構想案作成、地域住民へのアンケートや合併に関する情報提供などを実施していきます。

2005年3月までの合併を目指し、今後は年内の法定合併協議会の設置が課題となっています。



市町村合併の流れ



岩国藩があってなかったわけ

江戸時代、萩城三の丸(堀内)には、岩国を領有した吉川氏の広大な萩邸があった。吉川家の禄高は6万石。三百諸侯(大名)といっても一番多かったのは1万石級だから、これは堂々たる中堅大名といえる。ところが、奇怪にも岩国・吉川家は明治元年(1868)閏4月まで、ついに大名の扱いを受けなかった。毛利宗家・萩藩の家来のままだった。従って、幕藩体制下で岩国藩は実質、存在しながら名目は存在しなかった。なぜ、このようなことが起きたのか。そこに萩・毛利氏の関ヶ原への恨みの深さがうかがえる。

広大な吉川氏萩邸の意味

幕末・嘉永年間の「萩城下町地図」を開けば、橋本川河口北岸に「吉川監物」と記したひときわ広大な屋敷地が目をはく。ざっと見て、これより大きい敷地は萩城本丸、二の丸、藩校明倫館くらいである。

これが岩国・吉川家の萩邸いわゆる岩国屋敷だ。表89間、入り1000間で、8900坪・約3畝もあった。監物は歴代何人かが名乗ったが、この時は有名な12代経幹。堀内に並ぶ他の重臣の豪邸に比べ更に一回り広い。面白いことに、8万石の大名・長府毛利家の萩邸は3220坪と岩国の半分以下、4万石の大名・徳山毛利氏に至っては690坪でしかない。

だが、明白な区別があった。2藩の方には「長府屋敷」「徳山屋敷」とあり、当時の藩主名で「毛利左京」とか「毛利淡路」とはなっていない。邸宅地に名前が記されているのは、家来であることを示していた。長府や徳山が萩に広い屋敷を持たなかったのは、家来ではないから藩主が萩へ参勤することもなく、必要がなかったからだろう。岩国が萩で最も広い屋敷地を有した意味は複雑微妙である。

関ヶ原一件、『岩国市史』と『萩市史』の差

吉川家の岩国領有は関ヶ原戦のあと初代広家が毛利輝元から3万石の地を拝領して始まった。関ヶ原の敗戦は8か国の大守だった毛利氏を防長2国の外様大名に転落させた。結局、徳川方の「領国はすべて安堵するから」という甘言に騙され、戦わずして敗れたのだ。

吉川広家が毛利家存続に尽くした功績を称える『岩国市史』。歴代を「岩国藩主」で通している



のは「広家の至誠と献身的な努力に負う所が最も大きかった」と賞賛する。一連の経緯も豊富な史料を使い、詳しく熱をこめて記述している。

対照的なのが『萩市史』。「広家・広俊(福原氏)に対して批判が集中し、毛利家臣団の中心に深刻なしこりを残すことになる」と書き、広家に冷たい。記述も少ない。

毛利宗家・萩藩の岩国いじめ

本来、岩国・吉川家は長府・毛利家とほぼ同格で、徳山、清末とは成り立ち、禄高とも勝っていた。にも関わらず、両家が早々と宗藩の推挙で大名になったのに、岩国はさし置かれた。それでいて、江戸に事実上の藩邸をもち、将軍代替わりなどには江戸城に登って拝謁し、諸役も諸大名並に賦課された。こうしたことから、堪りかねた岩国側は何度か宗家に、幕府への叙爵推挙を頼んだ。叙爵は大名へ昇格することを意味した。だが、萩藩は取り合わなかったのである。そののみか、幕府や諸侯に対して岩国をお



江戸時代初め築城わずか7年で取り壊され、昭和37年に再建された岩国城跡天守閣(『江戸時代人づくり風土記』より)

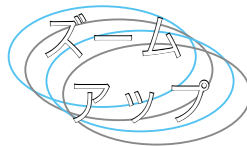
関ヶ原の措置、吉川広家への感謝と恨み

なぜ、こんないじめ、理不尽が生じたのか。著名な岩国の郷土史家が「要するに、関ヶ原のしこりが吉川氏の家格を不当に引き下げ」と指摘しているが、全く同感である。

「関ヶ原のしこり」は、先に引いた『萩市史』も毛利家臣団に残ったと書き、しばしば吉川広家と主戦派だった毛利秀元との仲が特筆される。だが、決して家臣団だけのことではない。何よりも一族の総帥で萩藩祖・毛利輝元その人の心にわだかまったのだ。

『新編物語藩史』に興味深い挿話が紹介されている。萩の初代藩主・秀就が初めて国入りし、広家や福原広俊らも招かれ内輪の祝宴が開かれた。席上、輝元が秀就に関ヶ原の苦勞を語り、福原広俊の氣遣いにふれたが、広家については全く言及しなかった。

のち広家は息子に「我等儀は一言もご沙汰なく、面目を失候」と述べ懐したという。毛利宗家の存続を図った交渉の主導者は広家だった。広俊は協力者にすぎない。なのに、



私たちは広島支部長・広島市議会議員

中原 洋美 氏

(広島市在住、昭和49年秋商卒)



「女性が自分の能力を発揮しつつ、家庭と子育ての両立を」「職場での男女差別をなくしたい」「この思いから議員として活躍中

パートナーとマツ

ダで共働きしながら、2回の出産と子育てを経験するなかで、「女性が自分の能力を発揮しつつ、家庭と子育ての両立を」「職場での男女差別をなくしたい」この思いが原点となり、25年間、働きつづけてきたマツダ(株)を退職して、3年前に広島市

▶幕末の「萩城下町地図」に「吉川監物」とある岩国吉川氏の広大な萩邸。右上に「長府屋敷」。上が北

この前後、対徳川交渉のほとんどを行ったのが吉川広家だった。実は最初、毛利氏は全領国を没収、防長2国も吉川氏へという意向を、広家が死をかけてくつがえした。だから、『岩国市史』は問題が解決に至った

としめた。萩藩より幕府へ提出の書類に、吉川氏の歴代当主を「家来共」とし「私一族家老の者」と書いたり、江戸城でことさら岩国を「家臣」と吹聴したと、『岩国市史』が悔しそうに記している。

こうだ。輝元の心中では、徳川にも受けのいい功労者広家への感謝と疎ましが相剋し、後者の方がより強く恨みとしてこったのではないだろうか。(つづく)

郷土史家 北村 知紀

議会議員選挙に立候補し、初当選しました。今は、議員バッチの重みを感じています。

私の近況

新人議員の私にとって、この3年間はすべてが勉強の毎日です。恥ずかしい話ですが、広島に来て28年が過ぎた今夏、初めて被爆遺跡めぐりに参加し、57年前の8月6日のヒロシマを学びました。改めて、「悪魔の兵器である核兵器は廃絶するしかない」との思いを強くしました。

一つ一つの経験、出会いが私を議員らしくさせてくれているのは、思っている矢先、来年4月は選挙です。笑顔と行動力で2期目の当選を目指しています。皆さんのご支援をお願いします。

高校生の思い出

第55回全国高校野球選手権大会で萩商業高校が山口県代表として甲子園に出場したことは、30年近く経った今でも、私の自慢話にな

っています。

県代表を決める決勝戦は萩高校と萩商業との対戦となり、萩市内の身内の戦いとなりましたが、萩商業が逆転、甲子園の切符を手に入れました。

私はプラスバンド部の一員としてクラリネットに応援。バス9台を連ねて、いざ甲子園へ。

途中休憩した広場のパーキング職員に「修学旅行？」と聞かれ、「甲子園へ応援に行く途中」「萩商業を知らないの」と、息巻いて答えたことを今でも覚えています。

ナント、萩商業は入場行進直後の第1試合。「0対1」で負けたものの、みんなが目標に向かって心を一つにするこの爽快感を経験させてもらいました。大きな財産になっています。野球部員のみなさん「ありがとう！」。

ちなみに、この年、全国優勝を果たしたのは広島商業でした。

萩に思うこと

議員になって人に出会う機会が

増え、「どちらのご出身ですか」と聞かれることが多くなりました。

「萩です」と答えると「吉田松陰、維新の町ですね」と会話が進み『萩焼き』『夏みかん』『指月山』『民謡男なら』などへと広がります。歴史を動かした町「萩」に、私は誇りを持っています。

何処の町にいても同じではない、「萩」にしか持てないカラーを残してほしいと思います。



7月13日の合同広島支部総会にて

プロフィール

昭和49年秋商業卒。平成11年マツダ(株)を退職、現在、広島市議会議員、私たちは広島支部長

萩に新しい観光&味覚スポット誕生

笠山に柑きつ工房・ビール工房を集結

椿東地区に本社、ビール醸造所、市内数か所に直売店舗のあった柑きつ加工業「(株)柚子屋本店」(創業1978年 平成14年1月カネシロから改称「金優社長」)が、笠山の萩ガラス工房の隣接地に、新社屋を建築し、本社機能と地ビール醸造所・柑きつ工房・柑きつ加工体験教室等を1か所に集約する。

9月6日のオープンを目前に、工事は急ピッチで最終の仕上げ段階に入っている。

萩の特産品である夏みかんや、だいたい・柚子などの加工風景を見学できるほか、地ビール「村塾」の醸造風景も見学可能。また修学旅行生などを対象に、夏みかんジュースやマーマレードなどの製造体験ができる実習教室も設置。夏みかんの皮を使ったオリジナル工芸品の実演や絵付けな



▲完成間近となった柚子屋本店の新社屋 (2002年8月20日撮影)



◀ 柑きつ製品



◀ 地ビール村塾

通信販売のご案内

萩ビール村塾1本450円、夏みかんジュース3本セットが3,000円からなど、柚子屋本店の数多くのオリジナル商品がインターネットで購入できます。<http://sonjuku.co.jp/shop/> ☎0838・25・7511

ども体験することができる。

将来的には、同敷地内に新鮮な萩産の海産物と地ビールをメインとしたビアレストランの計画もあるという。すでに、敷地入口近くの直売店は完成し営業を開始、柑きつ製品や地ビール・工芸品を販売している。9月6日のオープンの夕方には、敷地内に設置される黒御影石で作った「笠山日時計」の除幕式も行われる。原形は、17世紀後半・李朝時代の宮廷で使われていたもので、15分間隔の『真太陽時』と季節(24節季)を教えてくれるという。

春の椿まつりを中心に、年間を通して多くの観光客が訪れる笠山地区の、新しい魅力スポットになりそうだ。

萩発 旬の味便り

ケンサキイカ

イカの中でも高級種



シロイカまたはマイイカ、アカイカと地方名が多く、食通の間ではイカの女王とも呼ばれ、その味の良さで、もともとも好まれるイカです。

萩沖の離島近海(見島沖)に好漁場があり、春先から晩秋にかけて多く漁獲されます。夏から秋にかけては漁は盛期となり価格も手頃になります。普通は氷絞めにした状態で販売されていますが、専用水槽で活きたままを販売する店舗も出ています。

活きイカの姿造りが人気

適度に肉厚で甘みがあり、刺し身にしてよし、煮付け、干イカ、イカどんぶりにしてよし。

特に、新鮮な活きイカは甘味があり実においしく、透き通ったケンサキイカの活き造りは、萩の名物料理のひとつ。

最近ではこれを目当てにした他県からの観光客も非常に多くなっています。

道の駅「萩しーまーと」では、大きな円形水槽で常時販売、価格は1000gあたり420円、胴長25センチクラスで1杯(活きイカ)約1000円、氷絞めでは、1杯350円〜700円程度となっています。産直販売のお問い合わせは「道の駅萩しーまーと」(0838・24・4937)まで。

【お勧めメニュー】



活きイカの姿造り(活きケンサキイカ1本・調味料・薬味)

なんととっても活きたままのケンサキイカ姿造りがお勧め。透明感があって、ほんのりと甘味がある肉厚の身は、こたえられません。ぜひ萩に来て召し上がってください。

ゲソと呼ばれる足の部分は刺身でも美味しいですが、天ぷら・焼き物にする絶品です。また細作りにしたケンサキイカの身をご飯にのせたイカ丼も人気メニューのひとつです。

～東遊編～
SHOWIN ウォーク

萩市民号

▼会津若松市御薬園
(萩市長のメッセージを伝達)



市を訪問。

2000年夏に実施した平戸・長崎までの西遊編に続き、東北地方を巡る東遊編が8月21日に萩の松陰神社を出発しました。
中学生20人の一行は、最初の訪問地である世田谷区の松陰神社で出発式を行い、22日には会津若松

中学生の会津若松市の皆さんとの交流は今後の新たな交流の架け橋となりました。

23日の青森県の矢立峠からは萩市からの市民号の一行80人と合流し、市の文化財となっている「松陰室」を見学し、夜には弘前市民との交流会に参加しました。

24日には青森県内の松陰記念碑を訪ねました。松陰詩碑が建つ龍飛崎では、松陰が行きたかった北海道に思いを馳せました。

25日には、秋田県大館市にある松下村塾で地元の方々から熱心な説明を受けたあと、帰路に着ぎ全員無事に萩に帰りました。

▲大館市の模築した松下村塾

今年も「萩城下町マラソン大会」を開催します。

第3回 維新の里
萩城下町マラソン
Hasi Jyo-ka machi Marathon
出場者募集!!

昨年、県内をはじめ青森から鹿児島まで全国28の都道府県から約1800人のランナーがハーフマラソンなど5種目で健脚を競いました。全国規模のこのマラソン大会に参加してみませんか。

とき 12月15日(日)
ところ 萩スタジアム(スタート、ゴール)

参加料 【一般】30000円
【高校生】25000円 【中学生】15000円 【小学生】8000円
【ファミリー】30000円

申込方法 10月31日までに萩城下町マラソン実行委員会へ申込用紙を請求・記入のうえ、参加料を添えて郵便局で申し込み

問い合わせ 萩市民体育館内維新の里萩城下町マラソン大会実行委員会事務局
(0838・25・5519)



第25回

世田谷ふるさと区民まつり

に参加しました

8月2日～4日にかけて東京都世田谷区馬事公苑で開催された「世田谷ふるさと区民まつり」に参加し、萩の地ビールや海産物の紹介をしました。

松陰神社を通じて世田谷区の方々にはお馴染みとなった萩市のブースには、多くの方々が来られ、萩の味覚を楽しみました。

また、世田谷区在住の萩出身の方々も多く来られ、懐かしい故郷の味を運ぶことができました。

山口県・山東省友好協定締結20周年記念
「山口県・山東省友好の翼」ツアー

山口県では県と山東省の友好協定締結20周年を記念して、山口宇部空港を発着する国際チャーター便による「山口県・山東省友好の翼」のツアーを計画し、参加者を募集しています。記念行事として、山東省博物館で11月3日～26日まで、「山口県立秋美術館・浦上記念館所蔵 浮世絵名品展」が開催される予定です。この機会にぜひ、山東省を訪れてみませんか。

- コース
- 山東省・北京コース (169,000円)
 - 大連・北京コース (182,000円)
 - 西安・北京コース (183,000円)
- 旅行期間 平成14年10月31日(木)～11月5日(火)
- 募集人数 各コース70人
- 申し込み・問い合わせ先
- JTB 山口支店 ☎083・924・2369
- 近畿日本ツーリスト山口支店 ☎083・922・4891
- サンデン旅行山口支店 ☎083・923・2500

笠山ツバキ群生林

市の天然記念物に



8月1日に笠山虎ヶ崎ヤブツバキ群生林が、新たに市の指定天然記念物に指定されました。

笠山は火山島として出現し、藩政時代にこの地を藩直轄の公有林「御立山」とし、樹木の伐採や狩猟が禁止されたため、常緑広葉樹が生い茂り、樹下にヤブツバキが群生しました。明治以後その禁が解かれ、ヤブツバキは何度も伐採されましたが、切り株から新しい芽が伸びる萌芽更新が繰り返され、一株当たり約3.7本の木が生え現在は約25,000本に。全国的にも珍しい高密度林で特異な樹形のヤブツバキ林となっています。

また、株の最大周囲が2.4mもある大木や、藩政時代からの古株も多く残っています。

現在は遊歩道や解説板の設置などが整備され、観光名所の一つとなっています。

今回の指定により萩市の文化財は、118件（国指定40、県指定21、指定57）となります。

3年連続 金賞受賞

清酒・長陽福娘「大吟醸」

岩崎酒造(株)

明治34年創業で萩市の蔵元、岩崎酒造(株)の清酒「長陽福娘の「大吟醸」が、5月末に行われた平成14年全国新酒鑑評会で3年連続の金賞を受賞されました。4年前にも入賞しており、山口県内では初の4年連続入賞となります。全国から集まった1094点の中から金賞に選ばれた長陽福娘「大吟醸」は、丹念に精米された県内産の酒造好適米・山田錦と、阿武川の伏流水となる地下水を原料に、ごく低い温度で長い時間をかけて丁寧に発酵させ、さらに銘杜氏・南野清美の技を加え、お米



住所 山口県萩市東田町 58 番地
TEL 0838・22・0024
FAX 0838・22・8611

本来の味を大切にしたい、芸術品とも言える大吟醸です。フルーティな香りと、なめらかな味わいで、透き通ったこのお酒をぜひ一度味わってみてください。



米テレビ局がドキュメンタリーを制作

城下町・萩でロケ

アメリカのテレビ局「PBS」のドキュメンタリー番組のロケが、7月28日〜31日まで菊屋家住宅、口羽家住宅など萩市内で行われました。

このロケは「帝国シリーズ」としてこれまでに、ローマ帝政、フランス帝政などが制作・放送されていて、このシリーズの一つとして今回「JAPAN Memoirs of a secret Empire 陽いずる国日本・闇の帝国の記」と題し制作

されるものです。アメリカのテレビ局が日本の歴史についてシリーズとして紹介するのは初めてで、画期的な作品として各方面から関心がよせられています。

ドキュメンタリーの内容は、徳川家康の生涯から、社会形成、鎖国、黒船の来航までの300年間を3本シリーズ合計3時間の大作で、ロケは日本各地で今年の4月から始まっていて、来年3月まで行われます。

新博物館起工

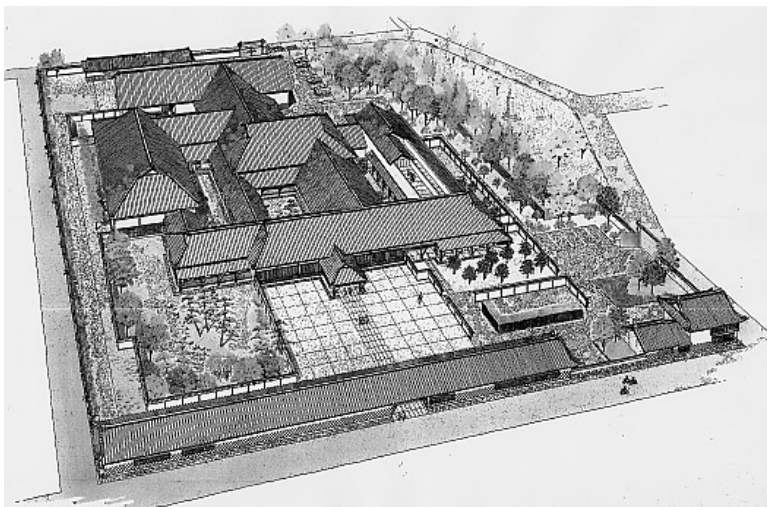
平成16年11月開館予定

萩市堀内の旧市立病院跡地に建設される新博物館建築工事の地鎮祭が7月8日に行われ、工事が始まりました。

建設地は重要伝統的建造物群保存地区内にあり、広さは約1万4000㎡。外観は特別のいぶし瓦の屋根や、しつこい塗りの外壁、なまこ壁など景観に配慮し、武家屋敷をイメージした施設を造ります。同敷地は毛利氏の一門、大野毛利家の上屋敷だったことから、長屋門、長屋、隅矢倉も修景復元されます。

展示施設は、常設展示室、企画展示室、特別展示室。教育活動施設は、天体観測室、体験学習室、講座室など。玄関ホール周辺に情報センター、ミュージアムショップ、軽食喫茶があります。

旧郷土博物館の収蔵資料は約7万点。新博物館は、「まちじゅう」に点在する本物の歴



史・文化遺産や多様な自然を有機的に結びつけていく「まちじゅう博物館」構想の中核的施設として整備されます。

開館は萩開府400年を記念して、平成16年(2004)11月を予定しています。

萩市制施行70周年



記念誌発売中
「萩見聞」

定価 1,000円(税込) 送料 310円(1冊)
発行 山口県萩市
申し込み 萩市役所広報課
(0838・25・3178)

萩市のうた 「萩のなないろ」

CD発売中!



萩市制施行70周年を記念して、制作された新しい萩市のうた「萩のなないろ」がCDになりました。

ふるさと萩をメロディで迎ってみませんか?

収録曲(全5曲) オーケストラバージョン、ピアノバージョン、記念式典初披露バージョン、インストゥルメンタル2曲

価格 800円(税込み)

申込方法 電話、FAX、Eメールで名前、住所、電話番号をご連絡下さい。代金振込み等は、申し込み後ご連絡します。



申し込み・問い合わせ
萩市企画課文化振興係 (☎0838・25・3590、FAX 26・0850)
Eメール kikaku-bunka@city.hagi.yamaguchi.jp

大型客船「ぱしふいっくびいなす」萩寄港!

就航: 98年4月 総トン数: 26,518t 全長: 183.4m 幅: 25.0m 旅客定員: 696名



春に来萩したクリッパーオデッセイ号に続いて、大型客船「ぱしふいっくびいなす」が9月23日(日)に日本列島一週クルーズの旅の寄港地(福江島、金沢、能代、室蘭)の一つとして、初めて来萩します。

萩では松陰神社、東光寺、萩焼窯元などを市内観光する予定。入港は午前7時、出港は午後6時の予定です。



7月7日
東海指月会総会
名鉄グランドホテル（名古屋市）

高2期（高18期）
事務局長は吉岡正博（萩）

31人出席。来賓として大阪指月会の新会長中山光夫さんなど10人が出席。萩国際大学から小田教員と自称応援団の山中さんが出席され、国際大学のPRをされました。会長は辻祝生（萩）



7月13日
たちばな会・からたち会
広島支部総会
ホテルセンチュリー広島21（広島市）

082-2330-2203（前田建設工業）
からたち会支部長は中村徳治（昭和30年・機械科卒）、事務局は土佐岡文夫（昭和43年・電気科卒）
082-2288-3353（ワールド電商）

68人出席。たちばな会15人、からたち会42人。カラオケ対抗戦がありました。たちばな会広島支部長が友永輝男さんから中原洋美（昭和49年卒）さんに交代しました。事務局は内海公夫（昭和47年卒）

7月27日
たちばな会北九州支部・からたち会九州支部 合同総会
チサンホテル小倉（北九州市）

事務局長は内田龍夫（昭和48年・土木卒）
092-412-3742
たちばな会支部長は松本浩（昭和32年卒）、事務局は小枝幹弘（昭和62年卒）。

44人出席。からたち会31人、たちばな会13名。たちばな会北九州支部は3年に1回開催してきたが、今年初めて、からたち会九州支部との合同開催。長江俊夫さん提供による恒例のママシ酒オークションが行われた。藤屋正明（昭和30年・土木卒）さんが和英「格言ことわざ集」を7月に出版。からたち会支部長は小野村浩（昭和33年・土木卒）

7月14日
九州指月会
平和楼6階（福岡市）

37人出席。元萩高校の日本史教諭の石原啓司さん（山口市在住）が「幕末長州藩の人びと」を出版されました。会長は秋田望（昭和30年卒）、事務局は井上秀夫（昭和32年卒）
092-596-6809



8月8日
萩高校同窓会総会
萩高等学校体育館（萩市）

川健一
会長は山縣喜一、事務局は萩高等学校同窓会
0838-25-7407

今年の八八会は39期卒業生の引き受けで、600人以上の卒業生が出席し、盛会のうちに終わりました。総会の後の懇親会では、当時の思い出話で盛り上がる笑顔が会場内にあふれ、新しい思い出作りのお役に立てたと満足しています。（萩高第39期代表 西川健一）

8月10日
萩光塩学院同窓会
萩光塩学院体育館（萩市）

100人出席。総会では、廣澤洋子会長、佐藤和子校長の挨拶に続き、平成13年度事業報告などがありました。茨城県から同窓会に出席された安達先生による乾杯の音頭で懇親会は始まり、福引きやビンゴゲーム、りんごの皮むき競争が行われました。事務局は萩光塩学院同窓会
0838-22-0782



萩商業高校の店

「ふあいんどあ にゆううえい」



●本格的な常設実習店舗

萩商業高校では、生徒の運営による食品販売の常設店を田町商店街の一角に開いている。平成9年に卒業生から、所有する空店舗を無償で貸してもよいという申し出があり、専用の常設店舗における販売実習が実現した。

実習店は、5月末〜11月の期間、週1回木曜日の午後には開店する。実習メンバーの中で、仕入、販売、経理など担当を決め、分担して実際の販売業務を体験する。商品は、近隣の高校が実習制作した加工品等と農協から仕入れる野菜や切花など。

「高校生の声が商店街に

響くだけでも元気がでると商店街の他のお店からも評判が良い。

●お客様・実習参加生徒ともに好評

生徒の感想は、「お客さんの少なさと、集客することの難しさを知った」「顧客の高齢化が予想以上であった」「金銭の授受の重要さを知った」などなど。中には「将来自分のお店を開きたい」という生徒もいた。

生徒にとっては『活きた社会』を教材として扱う実践的な勉強になり、また商店街にとっても、参考となるアイデアや若い世代のニーズを知る機会となるはずと、今後の発展的な継続に期待が寄せられている。

29年前 夏の甲子園初出場 萩商業高校に記念碑



29年前、萩商業高校硬式野球部が、第55回全国高校野球選手権大会（1973年8月）に出場したのを記念して、当時の野球部長や選手らが発起人となって、8月10日母校に甲子園出場記念碑を贈りました。

萩商野球部は県決勝で地元の萩高と対戦。延長10回1対0で萩高を下し、念願の甲子園初出場。甲子園では惜しくも1回戦負けとなりました。

当時監督を務めていた佐竹康実さんが今年3月、63歳で急死されたため、追悼を兼ねて記念碑を贈呈することになりました。

除幕式には、佐竹さんの遺族や学校関係者、野球部OB、現役の野球部員らが出席しました。発起人代表の瀬上

進（元野球部長）さんは「この碑を励みに、もう一度甲子園を目指してほしい」と挨拶され、同じく発起人の齋藤眞治さん（昭和50年卒）は「萩商OBの皆さん、萩に帰った時には、ぜひ記念碑を見て下さい」と話されました。

めーるぼっくす

ネットワーク会員からのご感想、ご意見を紹介します。

皆さんでこのコーナーをつくりませんか？お便りお待ちしております。

～ Re-Discover HAGI CITY ～

歳になり、ふるさとの香りがする萩ネットワークを楽しみにしています。萩出身で活躍されている人が各方面におられる事をよることで見せていただいています。萩市の発展を願っています。

（愛知県 坂本 薫）

◆山口県に4年間在住し、山口県下には熊谷氏のように埼玉から移り住んだ（源平の頃より）人々が多くいることを知り、より以上の興味をこの山口に持つことが出来ました。その意味でこの萩ネットワークは楽しみにしています。今は広島に在住していますが、もちろん私は埼玉産です。

（広島県 上野賢敏）

今月のプレゼント

○「大吟醸」(3名様)

本誌8ページで紹介した岩崎酒造(株)から金賞を受賞した、清酒長陽福娘「大吟醸」のプレゼント。

申し込み方法 官製ハガキに住所・氏名を記入のうえ、萩ネットワーク協会まで申し込み締切 9月30日(必着)

7月号プレゼント当選者

○萩の地酒(3名)

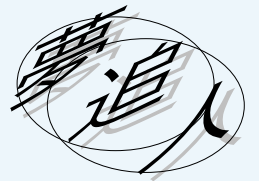
藤山幸子(東京都)、秋田 望(福岡市)、田村清介(相模原市) おめでとーございませう。

◆高校卒業後、萩を出て32年、50 (福岡県 荒津智子)

◆定年後地元に戻り、2年になりました。萩の良さを知らなすぎることに恥じています。とても素晴らしい町になって、多くの方が訪れて下さいますようお願いしています。また、色々な方の努力されている記事を拝読し、反省もしますし、「今日も一日楽しく精一杯過ごそう」と思っています。

(萩市越ヶ浜 村井紀子)

◆福岡市に住んでいますのに、萩へはなかなか訪ねて行く事が出来ません。年をとると益々遠くなります。萩の生活は一年半でしたけれど、ずっと住んでいたような懐かしい土地です。萩と名のつくものにはすぐ飛びついて行く様です。



有限会社ヨシミ工芸 代表取締役

吉見 明善 氏(47歳)

(福栄村在住・萩高48年卒)

北浦地区を中心にサイン看板のデザイン・施工を本業としながら、地域おこしや町づくり・人づくりに強い関心を持ち活動されている吉見明善氏にお話をお聞きした。

26歳で独立、平成8年に福栄村に本社工場を拡張移転

同志社在学中にレタリングとパースの通信教育を受講し、添削でそこそこ良い成績がとれたのが、この道に入ったキッカケ。萩に戻って地元の看板店に3年



▲吉見明善氏 福栄オフィスにて

間お世話になり、昭和56年8月に独立。「看板のヨシミ」創業、その後法人化を経て、平成8年に現在の福栄村に本拠地(工房とオフィス)を拡大移転しました。看板業界は5年ほど前から景気の低迷に時期を同じくして、非常に経営環境は厳しくなってきました。その対策として、同業者のネットワークを生かした新法人「(株)ジャパンプロジェクト」(山口市)を昨年立ち上げたり、現在保持している経営資源を活用して、間伐材を利用した木工製品の製作やエコロジー関係の機器物品販売に着手したり、いろいろと手を打っているところです。「身土不二(＝農都不二)」と「日本の雛形としての地域づくり」

一方、萩に戻った頃から、

青年諸団体に所属して活動するなかで、「まちづくり」に強い関心を持ちました。

今世紀になってその基本が変わってきたと感じるようになりまして。美しい町をつくるのか、社会基盤の整備とか、それはそれで重要ですが、最も大切なのは、「食糧を自給(生産・消費・再生産)できる地域づくり」だと考えています。

同時に、今(21世紀の初頭)あらためて日本人としての心構えが大切になってきています。常に日本人であることを意識し、この国の行く末を案じながら生活する事。たとえ日本の全ての地域が衰退したとしても、この萩阿武地域が残ってさえいれば日本を再興出来るくらいの気構えが必要だと思います。21世紀に相応しい日本の雛形としての地域を創り出したものです。

長州・萩文明維新講座の世話人、7月からは山口市でCBCを受講

「長州・萩文明維新講座」の世話人として、今年も「歴史に学ぶ武士の心得」をテーマに月1回ベリスの講演会の運営や、ML(マーケティングリスト)の管理をしています。武士道を学ぶという事は、日本人としての生き方の基本を学ぶということ、今の時代に必要な多くの教訓を得ること

とが出来ます。

また、この7月から県が主催の山口市で開催されているコミュニティ・ビジネス・カレッジ(CBC)に毎週土曜日、受講生として参加しています。よくあるボランティアによる方式ではなく、スモールビジネスを起業することで、地域の課題解決・地域おこしを実現しようという実践講座です。自分にとっての「天命・天職」を実践するためのハードルは結構高いと思いますが、少しづつでもそれに近づいていきたいと考えています。(談)

◇プロフィール
昭和29年11月27日萩市東田町生まれ 明経中学・萩高・同志社大学



明倫館南門 土塀基礎出土



経済学部(中退)、昭和53年に萩に戻り、看板業の修行を経て26歳で独立。現在、(有)ヨシミ工芸代表取締役 (株)ジャパンプロジェクト専務取締役
E-mail/hagiyos@bronze.ocn.ne.jp jp-yoshi@john-yamaguchi.or.jp
長州・萩文明維新講座(ML) hag.isin@free.nl.com) 世話人
☎0838・52・0077
福栄オフィス入口にある看板

明倫館小学校(萩市江向)敷地で発掘調査を行っていた萩市教育委員会が8月20日、南門(表門)横の土塀基礎と門前の木柵の敷石が出土し、門の位置が推定できたことを発表した。明倫館は1718年、萩市堀内に五代藩主の毛利吉元が創建。1848年に現明倫小に移転新築された。明倫館そのものは現存せず、かつての南門は近くの本願寺山口別院萩分院(萩市西田町)に移築されて残っているが、明倫小同窓会やPTAなどが同校への移築を要望している。南門跡はすでに調査を終え、埋められている。

石原啓司さん(元萩高校教諭)が出版

「幕末長州藩の人びと」



B5判、142ページ
定価 1,000円

田清風から正木退蔵まで主要人物39人の生没

石原さんは1931年小野田市生まれ。広島大学大学院修了後、山口高校、萩高校などで教壇にたち、92年に県立博物館館長を退職。現在は山口市黒川在住。

この本は、石原さんが同館に勤務した12年間に企画展の解説書として執筆したものを基に、退職後に加筆して仕上げた。全42章からなり、幕末・維新期の長州藩が、なぜあれだけ多くの人材を輩出したのかに迫っている。

また、村田清風から正木退蔵まで主要人物39人の生没

年が索引とともに掲載されており、参考資料としても使いやすいよう配慮してある。

あとがきで石原さんは、「幕末の政治において松陰が慨嘆した事は、現在の政治状況と不思議に共通している点が多い。幕末の長州藩は財政改革(民の生活安定)と教育改革(人材の育成)によって動乱の幕末を乗り越えることができたのである。

平成の現在でも経済の安定と教員養成制度の抜本的改革によって、国民の精神的支柱を再確立することが最も緊急な課題。政治家・公務員の真の覚醒がなければ、日本の将来は暗いといわざるを得ない。」と述べている。

山口県庁1階の刊行物センター(083・933・2583)で販売している。



◀ 俗塵庵サワモトの外観

地元市民や観光客に親しまれた堀内・菊ヶ浜の喫茶店「俗塵庵サワモト」のご主人 沢本良秋さんが、今年4月に亡くなった。

沢本さんは元萩工業高校教諭、22年前から喫茶店を経営。萩の歴史や文化に詳しく、多くの観光客に親しまれ、萩の名物喫茶店となっていたが、2年前にガンを発病し、昨年11月に店を閉店、今年4月に84歳で亡くなられた。

スケッチは亡くなる2ヶ月ほど前から自転車で行く各地を廻り、独特のタッチで、失われ行く萩の町並・風景を精力的に描いた。絵には一枚一枚、沢本さん自身の味のある文字でその絵のモチーフと

失われ行く萩の町並60景「俗塵庵サワモト」

沢本良秋さん(元萩工業高校教諭)

なった場所の解説が詳しく書かれている。

7月に道向かいの萩城観光ホテルで展示会が開かれたが、現在は閉店中の喫茶店の壁に10点程度が飾られている。事前に電話連絡し、奥様がいらっしゃる時であれば、鑑賞することができる。(連絡先 0838・222・3944)



▲ 姥倉運河から指月山を望む

山口県立萩美術館・浦上記念館だより

心のやきもの李朝展

— 朝鮮時代の陶磁 —

9月7日(日)〜10月27日(日)

韓国文化の心髄である李朝のやきものを紹介。清楚な白色と素朴なかたちにあらわれた李朝陶磁の美の世界を国内外の名品121点で紹介。

観覧料 一般1000円、学生800円



鉄砂虎鹿文壺 17世紀後半

青春の浮世絵師

鈴木春信展

— 江戸のカラリスト登場 —
11月2日(土)〜12月8日(日)

ポストン美術館、シカゴ美術館、メトロポリタン美術館、大英博物館をはじめとする国内外に所蔵される春信作品の中から、初公開、新発見の作品を含む約200点を一堂で紹介。

「夜の梅」メトロポリタン美術館



「雪中相合傘」
ミネアポリス美術館

平常展示

【浮世絵】

江戸の娯楽

10月6日まで

相撲絵の流れ

10月8日〜11月10日

役者絵の大首絵

11月12日〜12月8日

【東洋陶磁】

白磁の誕生と展開

9月7日〜12月8日

開館時間 午前9時〜午後5時休

館日 月曜日

問い合わせ 山口県立

萩美術館・浦上記念館

(0838・24・2400)

情報アラカルト

関東地区

■内田青虹展

萩出身で東京都在住の画家、内田青虹の作品が展示されます。

とき 9月5日(木)～11日(水)

午後12時～6時

ところ 武蔵野市吉祥寺東町リ

ベストギャラリー創

■東美アートフェア

三輪華子の妙シリーズの作品が展示されます。

とき 10月4日(金)～6日(日)

ところ 港区新橋 東京美術クラ

ブ4F

■萩陶芸家協会選抜展

萩焼作家・三輪龍作、岡田裕野坂康起、金子信彦など30人の萩陶芸家協会会員の作品が展示されます。

とき 10月8日(火)～28日(月)

ところ 港区日本橋 三越本店6

階 美術工芸サロン

■姉妹都市観光と物産展

とき 10月11日(金)・12日(土)

午前10時～午後5時

ところ 鎌倉生涯学習センター

鎌倉市小町 鎌倉駅東口徒歩3分

内容 萩市からは海産物、銘菓、地酒等を販売

参加市 萩市、上田市、足利市

■作陶30周年 高見世清次作陶展
萩焼作家・高見世清次の作品が展示されます。

とき 10月18日(金)～27日(日)

ところ 目黒区 工芸サロン山本

■萩・世田谷幕末維新祭り 萩観

光物産展

とき 10月26日(土) 午前10時

～午後7時・27日(日) 午前10時

～午後6時

ところ 世田谷区松陰神社鳥居前

(東急世田谷線・松陰神社前駅)

内容 萩焼、地酒、地ビール、

蒲鉾、海産物、夏みかん菓子等の

販売、陶芸教室の開催

■東京指月会

東京指月会を次のとおり開催します。

とき 10月19日(土) 午後2時

30分

ところ 千代田区大手町 KKR

ホテル東京

■内村幹雄作陶展

萩焼作家・内村幹雄の作品が展示されます。

とき 10月29日(火)～11月9

日(土)

東海地区

■坂高麗左衛門展

萩焼作家・坂高麗左衛門の作品が展示されます。

とき 10月2日(水)～7日(月)

ところ 静岡県浜松市 遠鉄百貨

店

■世界の現代陶芸100年展(仮

称)

岐阜県現代陶芸美術館のオープ

ン企画として開催されるもので、

萩焼作家・三輪休雪、三輪和彦、

岡田裕、兼田昌尚の収蔵作品が展

示される。

とき 10月12日(土)～

2003年1月19日(日)

ところ 岐阜県多治見市東町

■**ちばな会・からたち会中京支**

部合同総会

ちばな会・からたち会中京支部合同総会を次のとおり開催します。

とき 10月26日(土) 午後6時

～(予定)

ところ 名古屋市中村区 百楽

■岡田裕作陶展

萩焼作家・岡田裕の作品が展示

されます。

とき 10月29日(火)～11月9

日(土)

関西地区

■岡田裕作陶展

萩焼作家・岡田裕の作品が展示されます。

とき 9月12日(木)～18日(水)

ところ 大阪市阿倍野区 アペノ

近鉄

■中村真一作陶展

萩焼作家・中村真一の作品が展示されます。

とき 9月18日(水)～24日(火)

ところ 大阪市 大丸心斎橋店工

芸サロン

中国地区

■広島指月会

広島指月会を次のとおり開催します。

とき 9月21日(土) 午後5時

～

ところ 広島市南区 ホテルグ

ンヴィア広島

山口県関係

■山口指月会

山口指月会を次のとおり開催します。

とき 10月18日(金) 午後6時

30分

ところ 山口市 翠山荘

萩市関係

■人形・等身大の世界展

萩市在住の人形作家・國本ゆうじの作品が展示されます。

とき 9月10日(火)～16日(月)

振休)

ところ 萩市土原 長屋門珈琲カ

フェイカル内ギャラリー・草莽

■大和保男個展

萩焼作家・大和保男(山口市在住)の作品が展示されます。

とき 9月27日(金)～10月3

日(木)

ところ 萩市呉服町 彩陶庵本館

ギャラリー

■**ちばな会本部総会**

ちばな会本部総会を次のとおり開催します。

とき 10月19日(土) 午後6時

30分

ところ 萩商業高校体育館

■西日本陶芸作家展

萩焼作家・田中秀男の作品が展示されます。

とき 9月21日(土)～25日(水)

ところ 北九州市小倉 西日本展

示場

四国地区

■守繁栄徹・徹 父子展

萩焼作家・守繁栄徹と徹の作品

が展示されます。
とき 9月10日(火)～16日(月)
振休) 香川県高松市 三越

出版情報

■「幕末維新88のエピソード」高杉俊一郎著
幕末維新という事業に参加した人たちの苦勞話、若さゆえの失敗談、抱腹絶倒の面白話など、現代の私達と同じ視点で観察したエピソード集。
240ページ。

定価 952円(税別)
発行 有アガリ総合研究所

■「松陰語録 いま吉田松陰から学ぶこと」董門冬二著
時代の変革者、吉田松陰が混沌

の現代を生きる日本人に贈る「勇氣」と「励まし」のメッセージ。
A5判、283ページ。

定価 1500円(税別)
発行 致知出版社

■「和・英 格言ことわざ集」藤谷正明編著
萩工業高校出身の藤谷正明氏

(北九州市在住)の編著作。
A5判、261ページ。

定価 2000円
発行 創栄出版

■「幕末維新随想 松陰周辺のアウトサイダー」河上徹太郎著
吉田松陰から富永有隣、赤根武

人、前原一誠までの本物の歴史評論。司馬遼太郎との対談を収録。
四六判、224ページ。

定価 1800円
発行 河出書房新社

■「高杉晋作」梅沢昇著
晋作の短い波乱の生涯を、数々の英雄的エピソードを検証しつつ

克明に再現し、その実像に迫る。
342ページ。

定価 2100円(税別)
発行 吉川弘文館

■「体当たりの教育改革」河村建夫著
教育改革に情熱を傾けてきた政治家河村建夫が、自らの体験を通して綴る、七転び八起きの子育て奮闘記。教育改革への熱き想いの原点がここにある。

B6判、359ページ。
定価 1400円(税込)
発行 三晃実業(株)出版部

■「その時歴史が動いた 京都炎上、禁門の変の悲劇」(NHK総合テレビ)



テレビ情報

萩郷土博物館所蔵の資料高杉晋作から杉民治あての書簡が紹介されます。
放映予定日 10月9日(水)
午後9時15分～59分

再放送予定日 10月18日(金)
午後12時15分～59分

■「教育セミナー・歴史でみる日本 倒幕への潮流①長州藩の改革」(NHK教育テレビ)
高校生向けの歴史番組。萩郷土博物館所蔵の資料が使用されます。

放映日 10月22日(火)
午後11時30分～12時

■「第27期囲碁名人戦秋会場 大盤解説」(NHK衛星放送)
萩の宿常茂恵で行われる、囲碁名人戦の様子が放送されます。(P2参照)

放映日 9月25日(水)・26日(木)
各日 午前9時～10時
午後6時～7時

ラジオ情報

■「私の本棚」(NHK第一放送)
陽信孝の著書「八重子のハミング」を津嘉山正種(俳優)が10回に分けて朗読

放送日 9月23日(祝)～27日(金)・9月30日(月)～10月4日(金)
各日 午前10時30分～

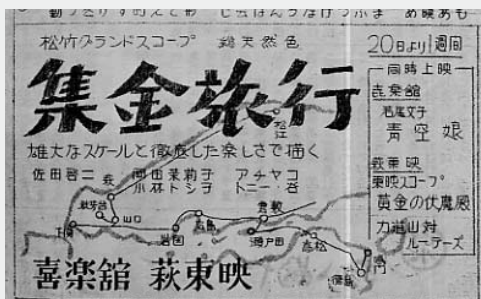
萩・文学散歩

井伏鱒二「集金旅行」

今回は「山椒魚」や「黒い雨」で知られている作家、井伏鱒二の作品「集金旅行」です。

佐田啓二・岡田茉莉子の萩口ケ

昭和32年には、映画化



去っていった旧住人たちからお金を取り立てようと旅に出るが、ひよんな事から、アパートの住人の年増美人、コマツさんがこの旅に同行。この二人の集金旅行が弥次喜多道中よろしく、飄々たるユーモアと哀愁で描かれている。

旅先は岩国、下関、福岡、尾道、福山といった中国筋が中心。

集金旅行は映画にもなっている。市内口ケは橋本橋、堀内地区、松陰神社、萩駅、萩税務署前で行われた。

監督は、中村登、脚本・椎名利夫、キャストには、佐田啓二、岡田茉莉子、らが出演。

(昭和32年作品)

松竹ホームビデオ
カラー 102分
3,800円(税別)



井伏鱒二は、1898年広島県生まれ。中学時代に日本画家を志したが断念し、早大予科へ進学。1929年に「山椒魚」等で文壇に登場。「ジョン万次郎漂流記」で第6回直木賞受賞。1966年(昭和41年)に文化勲章受章。

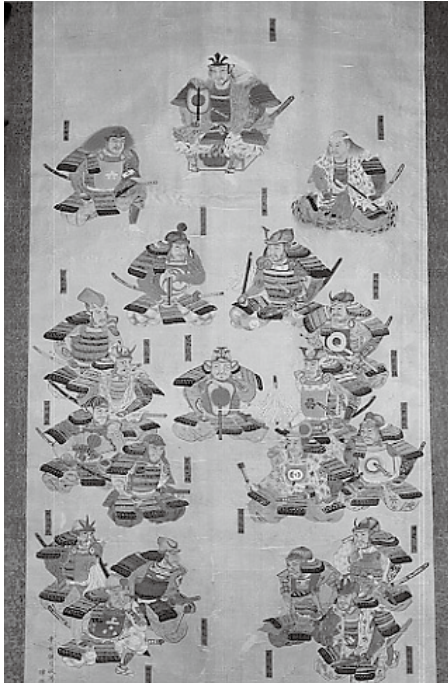
「集金旅行」は東京荻窪のあるアパートの主人が死んで、後に小学生の男の子一人が残されたことから、アパートの主人と親しかった主人公が、部屋代を踏み倒して

幕末の科学者中嶋治平 (12)

絵画と中嶋治平

現在、萩市郷土博物館には中嶋治平が描いた絵画が2点ほど所蔵されています。その1点は、縦約172センチ、横約400センチの6曲の屏風で、山水図が描かれています。「嘉永辛亥晩冬 韓齋中島津徳写」と落款があり、嘉永4年(1851)の晩冬、治平が28才の時の作品であることがわかります。

もう1点は、毛利元就御座備図の掛け軸です。御座備とは、武家の棟梁と仰ぐ大将を最上段に据え、その下に一門や重臣たちの、いわゆる「股肱の臣」を配した図をいいますが、萩藩を開いた毛利家では、毛利氏中興の祖毛利元就と彼に随従した武将たちが描かれています。毛利氏の家臣たちは御座備図をそれぞれ所持しており、正月や端午には床の間に掛け、先祖の武勲をしのんだといえます。この図にも「辛亥臘月 敬写 韓齋」と落款があり、嘉永4年の12月に描かれたことがわかります。最上段に元就が座し、その下に長男の隆元、長女の婿の穴戸隆家、次男の吉川元春、三男の小早川隆景がひかえ、さらにその下には天野隆重、吉見正頼、福原貞俊、桂元澄、志道広良、児玉就忠、口羽通良、



毛利元就御座備図 中嶋治平筆

国司元相、粟屋元親、渡辺長、熊谷信直、赤川元助、粟屋元秀、飯田元親、井上元兼の15人の武将たちが配られています。

治平は、萩藩の御抱え絵師で後に帝室技芸員となる森寛齋について絵画を学びました。森寛齋は、京都で円山派の森徹山に入門し、幕末期には京都での萩藩の尊王攘夷運動にも挺身し、主に情報収集の面で活躍しました。治平にあてた森寛齋の書状には、「最近、あなたの画才が上達されたとのこと。ぜひ拝見したいものです」とか、「あなたが描かれた絵は見事な出来栄と存じます。どうか、早くお送りください」という文言があります。画号を韓齋と称した、治平の才能のほどがしのべれます。

治平が描いた2つの絵画とも、嘉永4年の作で、2年後の嘉永6年にはペリーがアメリカの軍艦を率いて浦賀に来航し、翌安政元年(1854)に再び来航します。これを契機に、治平は一念発起して34才の安政3年から3年間、長崎へ留学し、朝鮮語を対馬藩の朝鮮通詞中村喜一郎、オランダ語を大通詞名村八右衛門、分析術(理化学)を長崎海軍伝習所のオランダ医官ボンペ、製鉄を長崎製鉄所の主任技師ハルデスから学びました。おそらく、これ以降、治平は絵など描く余裕はなくなったものと思われませんが、20才代で培った絵の才能は、長崎での留学中に役立っています。治平は、長崎で製鉄やガラス

製造、薬品製造、写真術など数々の科学技術を見聞し、それらを書き留めています。その覚書は単に文章だけでなく、緻密な図や絵も挿入してあり、文章の理解を助けています。まさに、多芸多才な治平の面目躍如たるものがあります。

長崎から萩に帰って

Topics

週刊日本の街道 17号
「萩往還と北浦街道」



発売中!

日本全国の街道を全100刊で収録。8月20日発売の最新号で萩往還を特集している。伝統の味や、人物探訪、街道歳時記など知らなかった新しい萩を再発見できる。全33ページ、カラー
定価 560円(税込)
発行 講談社

からも、治平は万延元年(1860)8月に開設されたガラス製造所に配属され、すぐさま科学先進地である鹿児島・長崎に派遣されました。文久3年(1863)7月には、下関攘夷戦争で沈没した萩藩の軍艦 壬戌丸の引き揚げに成功しました。さらに、元治元年(1864)1月には製鉄場御用掛、慶応元年(1865)11月には好生堂(萩藩の医学所)分析場御用掛を命ぜられ、慶応2年2月には金密局(萩藩の理化学研究所)総裁に昇進しました。このように、長崎で修得した豊富な知識と経験を生かして、治平は藩に重用され、多忙な日々を送りましたが、その過労がたたってか慶応2年12月28日、惜しくも44才で亡くなりました。

中嶋家には、治平手作りの筆筒が遺されており、それに自ら書画を彫刻しています。その書には、「安政元年の夏にこの筆筒の製作に取り掛かりましたが、心や手を休めることもないほど忙しく、文久2年の秋になってようやく完成しました」と刻まれており、完成までに実に8年もかかっています。探究心旺盛な治平の性格でしょうが、死に臨んで治平は、これまで自分が探究してきた理化学の道を是非後進に引き継いでほしいと遺言しています。

萩市郷土博物館 樋口尚樹